

# 令和7年度 予防接種のお知らせ

## ■予防接種を受ける前に

予防接種の説明書『予防接種と子どもの健康』等をよく読み、予防接種の効果、目的、副反応の可能性および予防接種健康被害救済制度について理解してください。予診票は、責任をもって記入し、**母子健康手帳**と一緒に必ず持参してください。予診票を紛失した場合は、必ず母子健康手帳を持参して、健康推進課窓口にお越しください。定期予防接種は、定められた期間内の接種は無料で受けることができますが、期間外での接種は任意の接種となり、有料となりますのでご注意ください。

## ◆持参するもの…母子健康手帳、予防接種予診票

予防接種名	対象年齢	標準的な接種期間・接種間隔	接種回数	
ロタウイルス (ロタリックスまたはロタテックのいずれか1種類のワクチンを接種)	①1価ワクチン(ロタリックス)を接種する場合… 出生6週から24週まで	27日以上の間隔をあけて、生後2カ月から出生14週6日までの間に2回接種。	2回	
	②5価ワクチン(ロタテック)を接種する場合… 出生6週から32週まで	27日以上の間隔をあけて、生後2カ月から出生14週6日までの間に3回接種。	3回	
小児用肺炎球菌	生後2カ月～60カ月未満	接種開始が生後2カ月～7カ月未満	27日以上の間隔をあけて、生後12カ月に至るまでに1～3回目を接種。3回目の接種から60日以上の間隔をあけて、生後12カ月～15カ月未満の間に4回目を接種。	4回
		接種開始が生後7カ月～12カ月未満	27日以上の間隔をあけて、生後12カ月に至るまでに1～2回目を接種。2回目の接種から60日以上の間隔をあけて、生後12カ月～15カ月未満の間に4回目を接種。	3回
		接種開始が生後12カ月～24カ月未満	1回目の接種から60日以上の間隔をあけて、2回目を接種。	2回
		接種開始が生後24カ月～60カ月未満	生後60か月に到達する前に1回接種。	1回
B型肝炎	生後1歳に至るまで(母子感染予防のため健康保険給付によりワクチンを受けたお子さんは、対象から外れます。)	生後2カ月～9カ月の間に1回目を接種。1回目から27日以上の間隔をあけて2回目を接種。1回目から139日以上の間隔をあけて3回目を接種。	3回	
※五種混合	1期初回:生後2カ月～90カ月未満	20日～56日の間隔をあけて、生後2カ月～7カ月の間に接種。	3回	
	1期追加:生後2カ月～90カ月未満	1期初回終了後6カ月～18カ月の間隔をあけて接種。	1回	
二種混合	2期:11歳以上13歳未満	11歳の間に接種。	1回	
BCG(結核)	1歳未満	生後5カ月～8カ月未満の間に接種。	1回	
麻しん・風しん(MR)混合	1期:生後12カ月～24カ月未満	生後12カ月～24カ月未満の間に接種。	1回	
	2期:5歳以上7歳未満で小学校に入学する前の1年間にある方(平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ)	小学校就学前の1年間 接種期間【令和7年4月1日から令和8年3月31日まで】	1回	
水痘(水ぼうそう)	1歳～3歳未満	生後12カ月～15カ月未満の間に1回目を接種。1回目から6カ月～12カ月の間隔をあけて2回目を接種。	2回	
日本脳炎	1期初回:生後6カ月～90カ月未満	6日～28日の間隔をあけて、3歳の間に接種。	2回	
	1期追加:生後6カ月～90カ月未満	1期初回終了後概ね1年の間隔をあけて、4歳の間に接種。	1回	
	2期:9歳以上13歳未満	9歳の間に接種。	1回	
【特例対象者】平成17年度から平成21年度にかけての接種の積極的勧奨の差し控えにより、日本脳炎の予防接種を受ける機会を逃した平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方:20歳になる前までは、不足回数分を無料で接種できます。				
HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)	小学6年生～高校1年生に相当する年齢の女子 (標準的な対象年齢:中学1年生) ※平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女子であって、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの間に1回以上接種した方は、令和8年3月31日までは不足回数分を無料で接種できます。	①2価ワクチン(サーバリックス)	初回接種から1カ月後に2回目、6カ月後に3回目を接種。	3回
		②4価ワクチン(ガーダシル)	初回接種から2カ月後に2回目、6カ月後に3回目を接種。	
		③9価ワクチン(シルガード9)	15歳以上の方:初回接種から2カ月後に2回目、6カ月後に3回目を接種。	2回
			11歳から14歳の方:初回接種から6カ月後に2回目を接種。	

※すでに四種混合・Hibワクチンで接種が完了している方は、五種混合ワクチンを接種できません。ただし、四種混合・Hibワクチンの接種を途中まで受けた方であって、ワクチン供給停止などのやむを得ない事情がある場合は、残りの接種分を五種混合ワクチンで接種できることがあります。五種混合ワクチンへの切り替えについては、医師にご相談ください。

<予防接種の接種間隔に注意しましょう>

**注射生ワクチン** 異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は、最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)